

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-133	A-142	23-054	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Alcohol use in multiracial American youth compared with monoracial youth: A meta-analysis 多民族系および単民族系アメリカ人若年者における飲酒についてのメタナリシス			
執筆者			
Dobani F, Zaso M, Desalu JM, Park A.			
掲載誌			
Addiction. 2024 Jan;119(1):47-59. doi: 10.1111/add.16310.			
キーワード			PMID
人種、アメリカ、飲酒、メタアナリシス			37563711
要 旨			
<p>目的: アメリカ人若年者における多民族系および単民族系人種による飲酒状況をメタナリシスで明らかにする。</p> <p>方法: アメリカ人若年者を対象とした人種と飲酒状況に関する 2023 年 3 月までの公開論文を PubMed, Scopus, PsycINFO, Cochrane Library で検索し、合計 16 研究 1555635 人において 10-24 歳の人種と飲酒状況についてランダム効果モデルで重みづけしたメタアナリシスを行った。</p> <p>結果: 多民族系はアジア系と比較して生涯飲酒リスクが高かった (オッズ比 1.81, 95%CI 1.01-1.34)。多民族系の過去一月の飲酒リスクは黒人系、アジア系と比較して高かったが (黒人系を対照群としたオッズ比 1.54, 95%CI 1.38-1.71, アジア系を対照群としたオッズ比 2.09 95%CI 1.52-2.88)、白人系より低かった (オッズ比 0.87 95%CI 0.84-0.91)。また、多民族系の多量機会飲酒リスクは黒人系およびアジア系と比較して高く (黒人系を対照群としたオッズ比 1.98 95%CI 1.62-2.44, アジア系を対照群としたオッズ比 2.84 95%CI 2.28-3.48)、白人系 (オッズ比 0.75 95%CI 0.70-0.81) やネイティブアメリカン (オッズ比 0.78 95%CI 0.71-0.85) より低かった。</p> <p>結論: 多民族系アメリカ人若年者は黒人系やアジア系と比較して飲酒リスクが高かった。</p>			